



「せみの声 響く夏の日 過ぎていく」

「国道の パンパスグラス 穂の色に 夏から秋の 移ろいを見る」

毎日うるさいくらいに感じる蝉の声、夏の終わりにかけてツクツクボウシが鳴き始め、吹く風にも少しずつ季節の変化が感じられます。また、国道10号沿いのパンパスグラス(西洋すすき)にも夏の終わりと秋の始まりを感じる季節となりました。

長いと思っていた今年の夏休みもあと1週間。楽しかったことや頑張ったことなど、一人一人にとって心に残る夏休みにできているのでしょうか。毎日の学習(課題)も計画どおりに進んでいるのでしょうか。8月26日(月)からの2学期の始業に向け、残り1週間の生活リズムを整えて、全員が身も心も頭も、いいスタートができるように有意義に過ごしましょう。

8月 平和について考える 「八月や 六月 九月 十五日」

日本人にとって、8月は平和の尊さを確かめる大切な月です。1945年(昭和20年)8月6日の広島への原爆投下、9日の長崎への原爆投下、そして15日の終戦など、忘れてはならない歴史があります。この月は、テレビなどでも平和について考える番組が放送されます。東中学校では、今年も2年生が7月に修学旅行で広島を訪れて、原爆の恐ろしさや戦争の悲惨さについて学びました。



また昭和20年には、高鍋町でもアメリカ軍による攻撃が行われ、高鍋駅付近(蚊口浦)でも空襲による大きな被害がありました。

時代とともに戦争の体験が風化されていく中、その悲惨さや平和の尊さを、私たちは世代から世代に受け継いでいかなければなりません。

8月は人権啓発強調月間です

宮崎県では毎年8月を「人権啓発強調月間」としています。夏休みやお盆休みなどで親戚や他の人たちとふれ合う機会が多くなるこの時期に、普段よりも人を思いやる、人権を尊重することの大切さについて考えてみましょう、という趣旨のものです。毎日の自分の身近なところから見つめてみましょう。



「あなたにもらった 思いやり 次は私が だれかのために」

「聞こう 話そう 分かり合おう 一人ひとりの いいところ」

「ありがとう みんなで使おう やさしい響き ごめんなさい みんなで示そう 謙虚な心」

ご協力ありがとうございました



7月28日(日)早朝に東中校区で恒例の空きビン・アルミ缶の回収活動を行い、3年生・保護者の奉仕作業を兼ねて実施しました。各地区から数多くのビンや缶をいただきました。益金は教育活動に大切に使用させていただきます。皆様のご協力に心から感謝いたします。

東中W優勝 児湯ミニバレー

8月4日(日)に高鍋町で行われた児湯郡小・中学校PTAミニバレーボール大会で、東中学校代表の2チーム(2年3組・3年2組)が各パートの決勝に進出し、両チームともに優勝しました。学校のチームワークの勝利、本当におめでとうございます。



中3生へ キャリア教育講演会



8月1日(木)に町美術館ホールで東・西中学校の3年生を対象に、講演会が行われました。清威人氏(エイムネクスト社長)が「為せば成る 大切にしている私の信条」の演題のもとに講演をされました。進路選択をひかえた3年生にとって、自分を見つめ直して進路実現への意欲を高めるために有意義な機会となりました。

高鍋めいりん未来創造塾

8月3日(土)に町役場で行われました。町内の社会人と中・高校生、大学生(宮崎産経大)が8グループに分かれて、高鍋の良いところ、課題、解決方法、働く意味や生き方などについて意見を交わしました。



東中学校参加生徒(2年生8名)

- 西府知宏 平原伍朗 瀧井花音 大窪日花里
- 西河実優 出口隆 伊藤陽斗 矢野慎乃介